

令和6年度東北農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定地区

ビジネス・イノベーション部門					
No.	都道府県	市町村	地区名		取組の概要
1	岩手県	一関市	株式会社テクノボンズ	 搾油の様子	菜種・えごま・ひまわり・ぶどうなどの搾油加工受託。地域の農家の収入増加に貢献。ワインの搾りかすから種を選別する作業は福祉施設の利用者に委託することで雇用増加。菜の花とひまわりの花で地域の観光資源の創出。
2	宮城県	名取市	宮城県農業高等学校 農業経営クラブ	 海のゴミ拾いボランティア	プラスチックカプセル肥料の残骸による環境汚染を防止するため、ウレアホルムによる緩効性肥料を開発しプラスチック不使用の肥料を商品化。肥料会社3社と連携し、新肥料を商品化。研究成果が各種コンクールで受賞したことや、SNSの情報発信により、消費者と生産者の意識を変えた
コミュニティ・地産地消部門					
No.	都道府県	市町村	地区名		取組の概要
3	青森県	黒石市	大川原地区棚田地域振興協議会	 県無形文化財「大川原の火流し」	大川原棚田地域の保全と農作物の付加価値向上に取組み、棚田を核として地域の振興を図る。大川原棚田地域の景観の保全のため、農地を集約して若手耕作者を確保。耕作放棄地を協議会で維持管理保全管理を実施。棚田米のブランド化と販路拡大。スマート農業で省力化し、耕作放棄地の解消。棚田を主軸とした広報媒体の制作やイベントの開催による交流人口の拡大。
4	宮城県	東松島市	奥松島果樹生産組合 いちじくの里	 桃・イチジクの120本植樹	のり養殖の閑散期に果樹栽培をする「半農半漁」を実施。東日本大震災から復旧した農地の活用を目的に、稲作やのり養殖を営む8名が、担い手の見つからない農地で、桃・いちじくの栽培を開始。地元小学校や幼稚園への見学や無料桃狩り体験を通じた教育活動を実施。県内外の自治体、農業者の視察を受入れ。果樹栽培による収入の増加。体験による地域農業への関心の向上。
5	宮城県	川崎町	株式会社 百	 百の理念を体験できる「百のやど」	建築の地産地消による宿泊施設の建設と食・エネルギーの地産地消の体験を実施。食とエネルギーの地産地消を目指し、30代の移住者で株式会社百を設立。「みちのく川崎里山ツーリズム協議会・里山joy!」の中核を担い、町内の事業者と連携して体験型ツアーの提供。宿泊者の増加。各種イベントへの参加者が増加することによる地域活性化に寄与。

個人部門					
No.	都道府県	市町村	地 区 名		取 組 の 概 要
6	福島県	南会津町	渡部 雅俊	 地域住民共同での 大堰水利確保作業	なかあらい大地を育む会代表として、地域の各団体と連携し地域の課題解決(少子高齢化、遊休農地の利活用、鳥獣害対策)の解決に助力。 集落に在住する若者層を「育む会」の役員として人材育成に務めている。ソバの種子を生産し所得向上に寄与。イノシシ・ニホンジカの被害が著しく減少。

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回)全国選定地区(東北ブロック抜粋)

ビジネス・イノベーション部門				
No.	所在 市町村	地 区 名		取 組 の 概 要
1	秋田県 横手市	Pilz株式会社	 椎茸栽培ハウス	椎茸生産後の菌床ブロックの廃棄物処理問題。 令和3年に「秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業」を利用し、椎茸の一環生産のできる施設を整備し、椎茸の生産を開始。椎茸収穫後の菌床ブロックの廃棄を事業者に依頼していたが、廃棄された菌床の山からカブトムシの幼虫を発見したこと、また、その菌床の山には草が勢いよく生い茂っていることに気が付き、廃菌床をカブトムシ飼育に使い、カブトムシの糞を野菜の肥料に使う廃資源を有効に循環させる取組みを開始。
2	山形県 西川町	特別賞 有限会社 玉谷製麺所	 山形県産農産物を使用したパスタ	持続可能な農業を応援するために、本来市場に出回らない農作物の利用が重要。 東日本大震災を受け「世界でここでもしか創れない食開発」を目標にかかげ、平成26年「雪結晶パスタ」を開発し、その後にお客様の声を反映したアートパスタの技術を構築。利用予定のないピーツペースト、摘果ラ・フランスなど廃棄していた素材や山形県産農産物を練込み、日本の四季や山形の産物、歴史文化を象ったストーリー性のあるアートパスタを製造し販売。
3	福島県 只見町	特別賞 合同会社ねっか	 地元小学5年生が※づくりから携わったお酒	只見町は東京都23区と同じ面積を有しながら、人口が3,500人で高齢化率が49%と、少子高齢化が進んでいるため、耕作放棄地の増加が課題。 酒米生産の農業と酒造業で通年雇用を生み出すため、米農家4名と醸造家1名で合同会社を設立。「日本酒」、「焼酎」の製造免許の新規交付が認められていない中、町の特産品である米を使用することで、福島県初の「特産品焼酎免許」を取得。JGAP認証の自社園場で栽培した米を活用した米焼酎製造を中心としたアルコール飲料を製造。
コミュニティ・地産地消部門				
4	青森県 弘前市	優秀賞 ひろさき援農プロジェクト	 ツアー参加者がりんご収穫に動む様子	日本一のりんご産地であるが、農業従事者の減少や高齢化といった問題があり、りんご産業の活性化及び関係人口の増加が課題。 りんごが原料のシードルを製造するニッカウエスキ（株）が令和2年度から、販売するアサヒビール（株）が令和4年度からりんご作業の援農ボランティアに従事。令和5年度の両社からの企業版ふるさと納税を財源に、両社と弘前市、（株）JTBIによる官民連携の援農ツアーを実施。
5	秋田県 横手市	秋田県南旭川水系土地改良区	 泥んこドッチボール	都市化・混住化が進み、地域の農業や歴史ある農業水利施設の保全が課題。 地域住民に対して、土地改良施設や農業への理解の醸成が必要不可欠と考え、地域との関わりについて模索。地元小学校を対象として農業への理解醸成に取組むことで、10年先20年先の将来に繋がる活動が出来ると大いに期待し、平成16年より小学生を中心とした施設体験学習等をスタート。